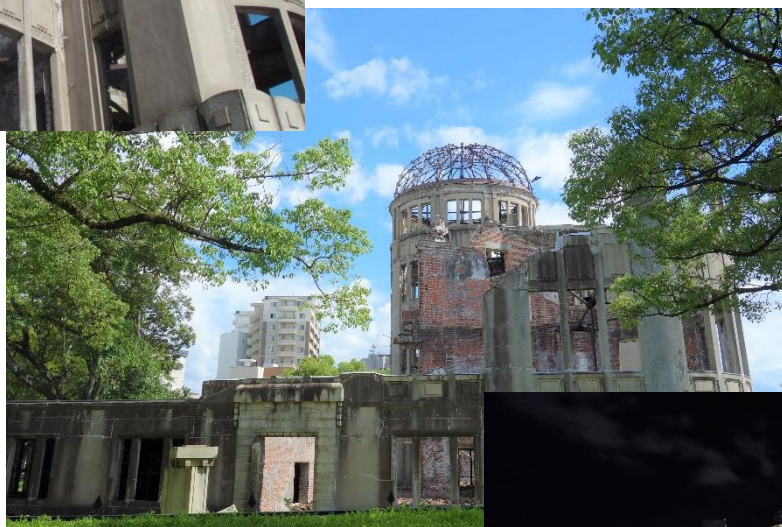
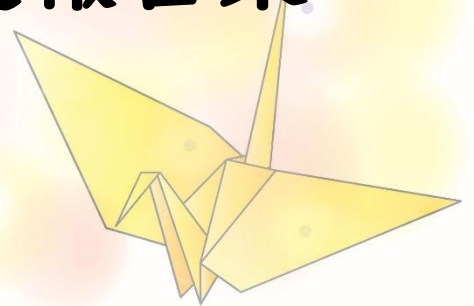
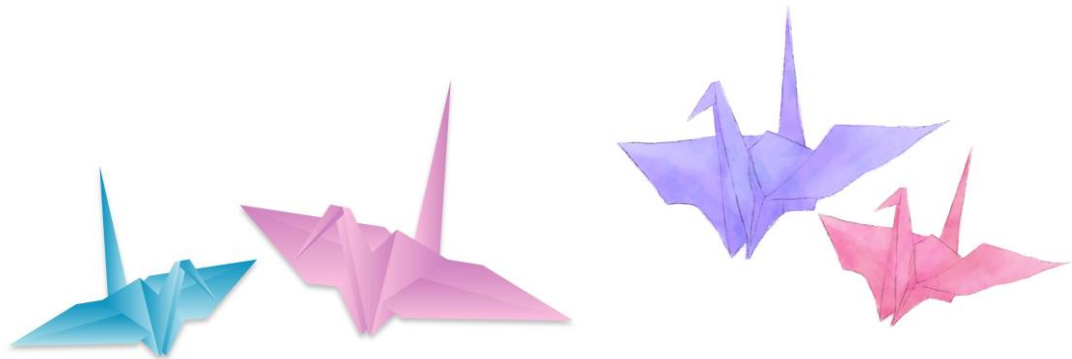


令和5年度  
茅ヶ崎市ピーストレイン  
平和大使広島派遣報告集



この報告集は、茅ヶ崎市ピーストレイン平和大使広島派遣事業に参加した児童・生徒が、平和記念式典への参列など広島で見たこと、感じたこと、体験したことを伝えるため、作成したものです。



## 茅ヶ崎市

### ピーストレイン平和大使広島派遣事業

次代を担う若い人たちを広島市に派遣し、8月6日に行われる平和記念式典への参列や、広島平和記念資料館等の見学を通し、現地で原爆の悲惨さ、平和の尊さを肌で感じ、学び、体験したことを一人でも多くの人々に伝えてもらうことを目的としています。

# 目次

## 8月5日平和記念資料館見学

(絵)	渡邊 あいの	3
(作文) 広島平和記念資料館に行って	鈴木 ひかり	4

## 8月6日平和記念式典

(絵)	長沼 快	5
(作文) 平和記念式典	長沼 快	6

## 8月6日ひろしま子ども平和の集い

(絵)	小泉 菜月	7
(作文) 平和の為に	下山 博美	8

## 8月6日被爆者のお話

(絵)	渡邊 あいの	9
(作文) 被爆者のお話を聞いて	鈴木 ひかり	10

## 8月6日とうろう流し

(絵)	木下 七音	11
(作文) 灯籠で広がる平和の輪	小泉 菜月	12

## 8月7日本川小学校資料館

(絵)	木下 七音	13
(作文) 本川小学校資料館	下山 博美	14

ピーストレイン平和大使広島派遣 事前学習会 . . . 15

ピーストレイン平和大使広島派遣の様子 . . . 16~18

ピーストレイン平和大使広島派遣 振り返り . . . . . 18

平和都市宣言 . . . . . 19

茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言 . . . . . 20

8月5日 広島平和記念資料館見学



渡邊 あいの

## 広島平和記念資料館に行って

鈴木 ひかり

私たちは、茅ヶ崎市平和大使として広島で3日間平和について学んで来ました。1日目の8月5日に平和記念資料館を訪れました。そこでは、私達が想像できない程、悲惨で痛ましいものを見て来ました。

資料館には、被爆して亡くなってしまった方々がそのときに着ていた服や、見たものなどがたくさん展示されていました。特に私の記憶に残っているのは、爆弾が落ちる前と後をプロジェクションマッピングを利用して映したものです。そこには、1つの原子爆弾によって一瞬にして街が破壊される様子が写っていました。それを見たとき私は、初めて戦争や原爆が落ちることはあってはいけないということを実感しました。学校で広島や長崎のことを学んだことはありましたが、自分が経験したことはないので、自分事のように考えたことがなかったからです。これは、私だけではないと思います。だからこそ、このような平和を守る取り組みを、日本だけでなく世界でも、広めていくことが必要だということがわかりました。

日本人なら、知っておかなくてはならない歴史があることを、学びました。

# 8月6日 平和記念式典



長沼 快

## 平和記念式典

長沼 快

広島に原爆が落とされてから、今年二〇二三年で七八回目の夏を迎えた。

今年は、G7広島サミットもあり、世界が平和へと向かう兆しを感じたい反面、某映画による騒動が物議を醸すなど、揚げる理想との乖離も見せつけられたと感じている。やはり平和への実現に関しては、人々による意識の違いを乗り越えていかなければならない。その過程で、賛否の分かれる問題も出てくるだろう。しかし、どうなろうと最後に行きつくのは、「Never Again」のメッセージであってほしい。何の拍子に世の中が崩れるかは分からない。でも、その惨禍を繰り返さないという意味は、いかなる立場でも捨てないでほしいと思う。

この式典にいらした来賓の方々、日本を動かす方々、そしてこの国の主役のあなたが、同じ思いであればと思う。



8月6日 ひろしま子ども平和の集い



小泉 菜月



## 平和の為に

下山 博美

「自ら命を絶たないでください。戦争を繰り返さないで。」会場全体に力強く人々に訴えている声が響いた。

子ども平和の集いで私は「被爆体験講話」が印象に残っている。各地域の代表者が集まり会場に緊張感と静けさが広がる中講話は始まった。戦中、戦後の様子、原子爆弾の恐ろしさや戦争そのものの恐ろしさなど様々なお話をされていた。そして実際に体験したからこそその「戦争を繰り返してはいけない」という言葉は私の頭から離れなかった。

私は茅ヶ崎市の代表として学習会や資料館で学んだことを発表し各地域の代表者の発表を聞いて、今私が住んでいる茅ヶ崎市をはじめ、多くの地域で平和の為に行動をしていることを知った。今回学んだことを自分の中で留めるのではなく沢山の人々に伝えていき、戦争を二度と繰り返さないようにする。

# 8月6日 被爆者のお話



渡邊 あいの

## 被爆者のお話を聞いて

鈴木 ひかり

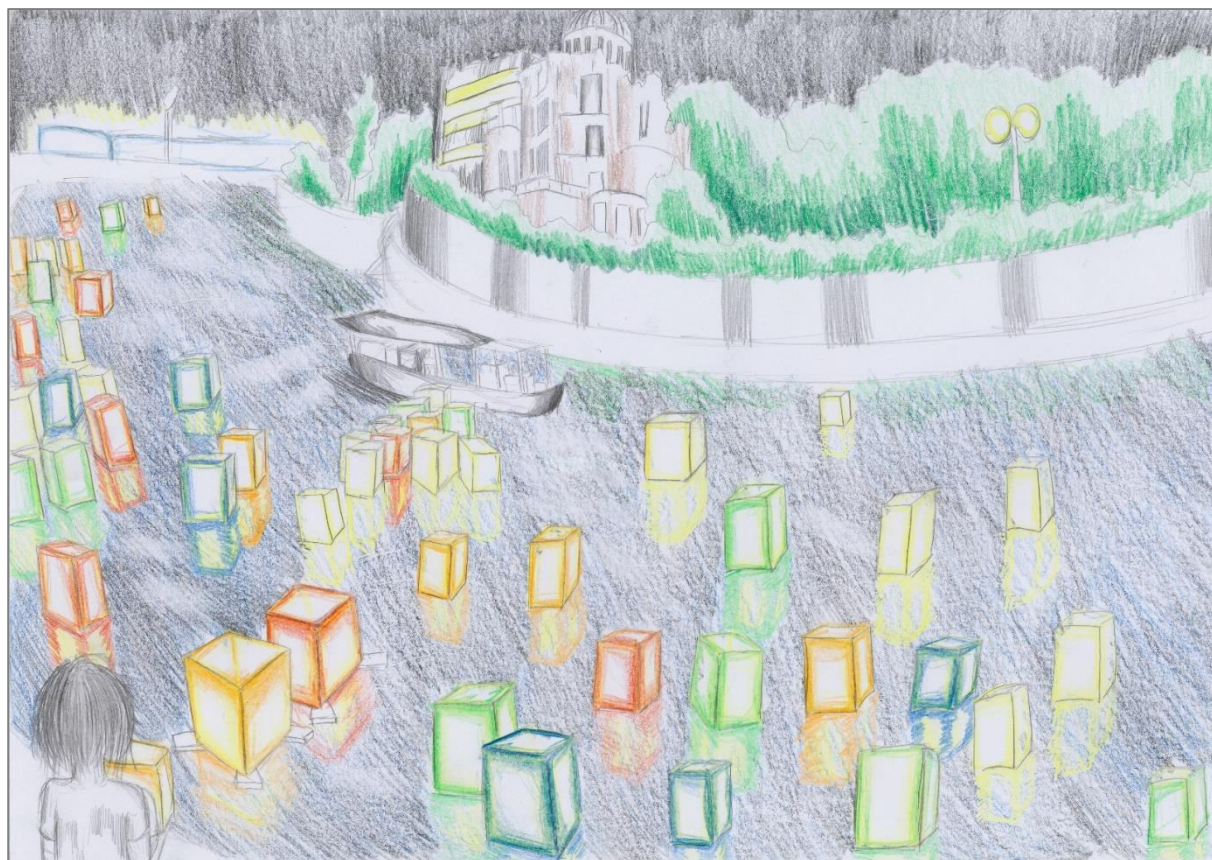
私達は広島で3日間、原爆への理解を深めるために、被爆者の西田吾郎さんのお話を聞きました。西田さんが3歳の時、お友達と遊んでいるときに、『パッ！！』ともものすごい光がして、上を見上げたそうです。西田さんはそのことを『ものすごいエネルギーが、光としてやって来た。』と述べていました。その後原爆の炸裂によって、大爆風が吹きました。台風の10倍近くの風力だったそうです。その爆風は、いろいろなものを粉々にしました。さらにその後、放射能という、目に見えない放射性物質が大量に降り注ぎました。それを浴びて、今もなお、苦しみに苦しんでいる人がいるということを知り、耳を疑う程おどろきました。たった1つの爆弾によって、何十年も苦しみに苦しむ人が出るとは、思わなかったからです。

そして、私達に原爆の話をして西田さんの姿は、とても原爆によって悲しい思いをされたようには見えなかったです。ですが西田さんはこの戦争で母さんを亡くしています。きっと心の中では、悲しいと思っているのかもしれませんが、ですがそこから、たとえそれが信じたくないことでも、受け止めなくてはならない現実だということを知り、語り継がなくてはならないということを知りました。

私は今まで話すだけでは、その悲惨さは、伝わらないと思っていましたが、それはちがうということがわかりました。なので私は広島で学んで来たことをできるだけ多くの人に伝えていきます。

西田さんは最後に、「核兵器を減らすことはとても大切。難しいことかもしれないけど。」と述べていました。今の日本のような平和を守り続けるためには、西田さんの言葉と、しっかり向き合う必要があります。

8月6日 とうろう流し



木下 七音

## 灯籠で広がる平和の輪

小泉 菜月

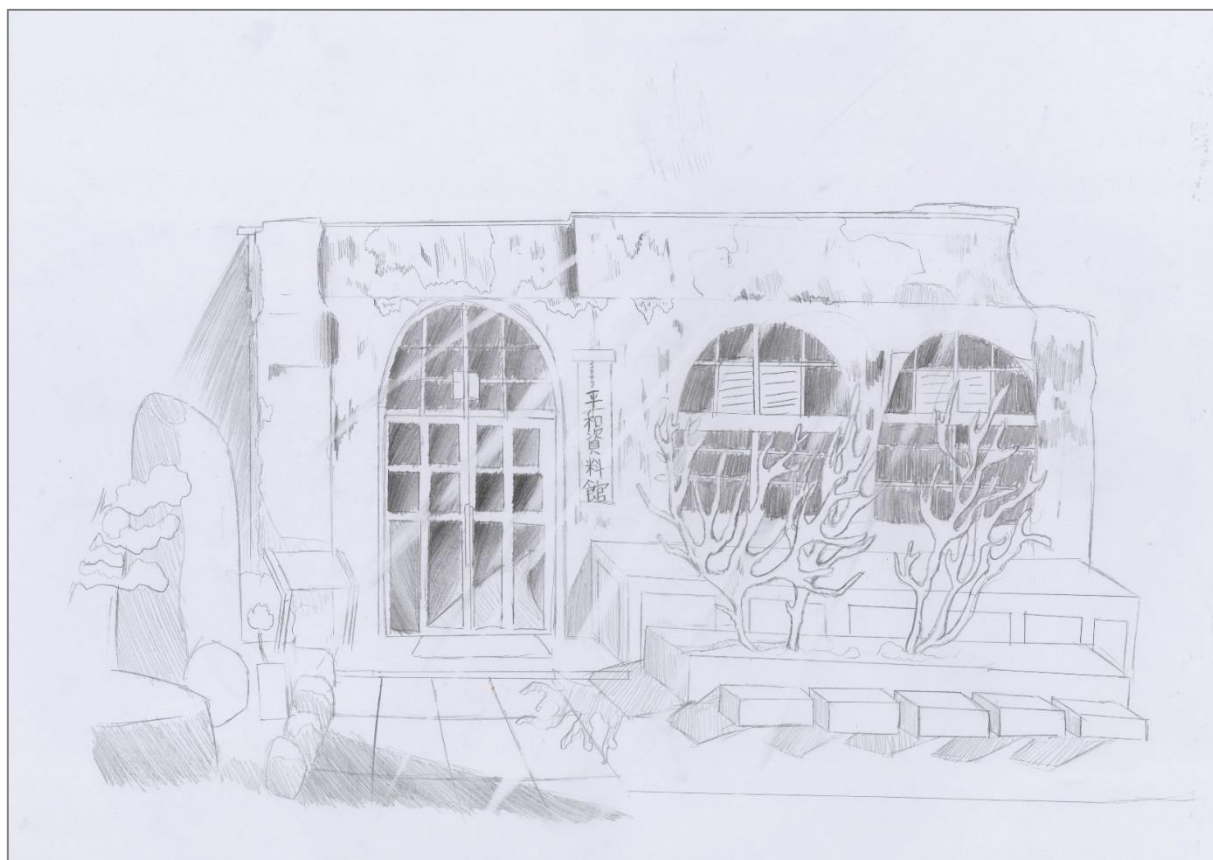
八月六日、私達平和大使は、広島市の元安川で行われた灯籠流しに参加した。

八月六日は、広島に一つの原子爆弾が投下された日である。灯籠流しは「送り火」の一種で、被爆者の霊を慰めるとともに、平和への願いも込めて作られる。

夜になると元安川には大勢の人が集まった。それぞれが持つ灯籠には平和に対する想いや願い、イラストが描かれており、ライトアップされた原爆ドームの前を色とりどりの灯籠が流れた。

集まった人の中には、国内からの人は勿論、国外からも多くの人が集まっていた。その光景を見て、平和の輪は既に日本だけでなく国外にも広まっていると感じ、とても嬉しかった。来年にはさらにこの輪が広まっていることを私は願っている。

# 8月7日 本川小学校資料館



木下 七音



## 本川小学校資料館

下山 博美

「戦争を二度と繰り返してはいけないと改めて感じた」それは広島にある本川小学校資料館に訪れた率直な感想だ。

本川小学校資料館はその名の通り小学校自体が資料となっている。地下展示に行くと原爆による被害が目に見えて分かった。さらに深くの地中には七層の地層があるらしい。戦争による遺体を燃やして埋めたことにより出来た地層だ。七層ということは少なくとも七回は遺体を埋めたということであり、校舎だけでなく地中にも原爆の歴史が詰まっているということが印象に残っている。

本川小学校、それは一番爆心地から近い場所にある形の残った建造物である。その為原爆の恐ろしさが他の資料館とは違う視点から知ることが出来た。今までも平和について学ぶ機会があったがそれは自分の目で見ただけではなかった為、今回の学習で実際の被害を見て、改めて戦争をもう二度と繰り返してはいけないと思った。

# ピーストレイン平和大使広島派遣 事前学習会

## 講座：茅ヶ崎の戦争にまつわる歴史や戦争遺構

平和大使は、広島に派遣される前に、茅ヶ崎の戦争にまつわる歴史について学びました。戦争の影響があったことを物語る場所が、市内の様々な所にあることを知りました。講座を通じて、過去の出来事を覚えていること、平和の尊さを忘れないことが大切だと感じました。



## 折り鶴へ平和への願いを込める

毎年平和を願って市民の方から寄せられた折り鶴をボランティアの方が千羽鶴にしてください、茅ヶ崎市ではその千羽鶴を広島平和記念公園内にある「原爆の子の像」に献納しています。平和大使も自分で折った鶴に平和へのメッセージを書いて、千羽鶴に想いを込めました。



## 平和の大切さを伝える

8月6日に広島市内で開催される「ひろしま子ども平和の集い」では、平和のバトンをつないでいこうと全国から集まる若い世代の取組の発表が行われます。事前学習会で学んだことから、どんなことを広島で伝えようか話し合っ、茅ヶ崎にまつわる戦争と折り鶴について、平和大使として発表することにしました。





# 8月5日 ピーストレイン平和大使広島派遣

## 茅ヶ崎市から広島へ出発



## G7広島サミット回想展



## 平和記念資料館見学



## 原爆の子の像に千羽鶴を捧げる



## 原爆ドーム見学





# 8月6日 ピーストレイン平和大使広島派遣

## 平和記念式典に参加



平和記念式典写真  
提供：広島市

## ひろしま子ども平和の集い発表



## 姉妹都市ホノルルの高校生との交流 戦争や平和について意見交換



## 原爆被爆体験者のお話



## とうろう流し





# 8月7日 ピーストレイン平和大使広島派遣

## 本川小学校資料館見学



# 8月18日 ピーストレイン平和大使広島派遣 振り返り

広島で感じたことを話し合い、平和大使として伝えていく

平和大使は、8月5日から7日の広島での体験を通して、一人一人が感じたことを共有したことにより、戦争の悲惨さ、平和の尊さや大切さを改めて認識しました。「平和について」ポスター・作文コンテストから選出された平和大使は、広島で見たもの、感じたこと、学んだことを絵と作文にしました。また、平和への活動を、一人でも多くの方、そして次の世代に伝えていくため、広島での様子を映像にしました。



## 平 和 都 市 宣 言

茅ヶ崎市は、正義と秩序を基調とする世界平和を希求している日本国憲法の精神にもとづいて、世界連邦の建設に同意し、世界の永久平和の確立と人類の福祉増進のために、全世界の人々と相結んで、この崇高な目的の達成に努力する平和都市であることを宣言する。

1962年12月19日 茅ヶ崎市議会



## 茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言

茅ヶ崎市は、1962年12月19日世界人類共通の願いである真の恒久平和を希求し、その実現に努めるため、平和都市宣言を行った。

しかるに地球上では今なお核兵器の増強はとどまることなく、全人類の生存に深刻な脅威をあたえている。

よって、再び全市民の名において次の宣言をする。

日本国憲法に基づき国是である非核三原則を遵守する国とともに、地球上のすべての自然を破壊し、全人類を滅亡させるにたるあらゆる国の核兵器の使用を全面禁止する国際世論を喚起するため、茅ヶ崎市はここに核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。

1985年12月24日 茅ヶ崎市

## 令和5年度 茅ヶ崎市ピーストレイン平和大使広島派遣報告集

令和5（2023）年9月発行

第1刷 55部作成

発行 茅ヶ崎市

編集 文化スポーツ部多様性社会推進課

〒253-8686

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電話 0467-81-7150

FAX 0467-57-8388

ホームページ <https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

※掲載されている作品は、令和5年8月23日以前に書かれたものです。

※作品集の作成にあたり、明らかな誤字・脱字以外は原文のままに編集を行っています。